

第3期地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(1)

主要な施策	基本目標 1 地域福祉を進める担い手を育てます 基本施策(1) 福祉学習を推進し、地域福祉意識を普及啓発します
活動指標	市の職員による福祉に関する出前講座の実施数
関係機関	健康福祉部
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）	
<p>(活動指標) H30年度：8回 → R6年度：増加</p> <p>(R2年度の取組) 山崎：1回、13名参加。山崎民生委員児童委員の障がい福祉部会の方を対象に、介護保険制度の説明、認知症サポーター養成講座を実施し、今後の民生委員児童委員の活動につなげた。 一宮：2回、33名参加。自治会の役員を対象に『毎日取り組む健康づくり～アルコール編～』、『感染症対策』講座を実施した。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
—	

活動指標に対する評価等(2)

主要な施策	基本目標 1 地域福祉を進める担い手を育てます 基本施策(2) 市民活動・ボランティアへの参加を促進します
活動指標	「しそ元気げんき大作戦事業」の実施団体数
関係機関	市民協働課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）	
<p>(活動指標) H30年度：12団体 → R6年度：増加</p> <p>(R2年度の取組) 事業を実施するための組織の立ち上げや調査研究に取り組む「スタートアップ事業」の補助メニューを新たに追加し、募集を行った。結果、新規事業3件、継続事業7件を採択し、支援を行った。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>活動指標でH30年度を12団体としているが、新規を含め全体で10団体の申請にとどまった。R2年度から補助メニューとして新たに追加した「スタートアップ事業」の啓発に努め、新規取組み団体の増加に取り組む必要がある。</p>	

第3期地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(3)

	基本目標 1 地域福祉を進める担い手を育てます 基本施策(3) 地域福祉を担う人材を発掘・育成します
活動指標	認知症サポーター養成講座受講者数（ステップアップ講座を除く）
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）	
<p>（活動指標） H30年度：458人 → R6年度：500人</p> <p>（R2年度の取組） 認知症を理解し、地域で暮らす認知症高齢者やその家族の支援者を増やすことを目的に、認知症サポーター養成講座を年間20回開催、受講者500名の目標としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により、2回開催、50名の参加となった。（令和3年3月末現在の見込み）</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>後期高齢者が増える中、認知症の方が増えている。今後も認知症の方が安心して住み慣れた地域で生活していくためには、地域の方や企業等に対し認知症を理解し、認知症の方やその家族の支援者を増やしていくために認知症サポーター養成講座を年間20回開催、500名のサポーターを養成目標としているが、開催方法については、web配信等多様な方法での開催検討が必要である。</p> <p>認知症サポーター講座受講後に、サポーターがどのように認知症の方やその家族への支援をされているのか把握できていない。また、認知症サポーター養成講座を1回受講し認知症の方への支援ができるかという難しい考える。継続した支援が必要である。</p>	

活動指標に対する評価等(4)

	基本目標 1 地域福祉を進める担い手を育てます 基本施策(3) 地域福祉を担う人材を発掘・育成します
活動指標	認知症サポーター登録者数（延べ数）
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）	
<p>（活動指標） H30年度：244人 → R6年度：544人</p> <p>（R2年度の取組） 認知症サポーター養成講座受講者に対し、認知症サポーターへの登録者を確認しているが、今年度は登録者がいなかった。 令和2年度見込み：309名の登録者である。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>認知症の方が安心して住み慣れた地域で生活していくためには、認知症を理解し認知症の方やその家族の支援者を増やす認知症サポーター養成講座受講者の中から認知症サポーターへの登録を増やしているが、登録者がどの程度、認知症の方への支援をされているか把握できていない。今後、サポーター登録者の活動状況を把握し、支援ができるように継続的な働きかけが必要である。 年間、50名の登録者をめざす。</p>	

活動指標に対する評価等(5)

第3期地域福祉計画施策検証シート

主要な施策	基本目標 1 地域福祉を進める担い手を育てます 基本施策(3) 地域福祉を担う人材を発掘・育成します
活動指標	生活支援サポーター養成講座受講者数（延べ数）
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）	
<p>（活動指標） H30年度：11人 → R6年度：17人</p> <p>（R2年度の取組） R2年11月11,12日に生活支援サポーターの養成講座を開催した。 講座では、介護保険制度の説明、介護技術、認知症の理解について講義を行った。 受講対象者を就業予定はないが、在宅で介護をしており知識を深めたいと希望する方も受け入れ広報誌やホームページで周知申し込みは12名であった。受講修了者は8名。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>養成講座を修了しても就業先がない。介護人材育成も大事だが、現在就職してる方が長く勤められるような支援も必要である。</p>	

活動指標に対する評価等(6)

主要な施策	基本目標 1 地域福祉を進める担い手を育てます 基本施策(3) 地域福祉を担う人材を発掘・育成します
活動指標	自殺対策ゲートキーパー研修受講者数（延べ数）
関係機関	保健福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）	
<p>（活動指標） H30年度：0人 → H6年度：150人</p> <p>（R2年度の取組） ゲートキーパー研修 2回 14人</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大傾向、緊急事態宣言等の影響で、計画していた研修会の延期や中止や規模縮小があったため、予定していた人数での実施が出来なかった。受講された方へのアンケートから「自殺対策の理解が深まった」「話を聴くということの大切さが分かった」など、研修を受講することで、気づきや支援への理解が得られており、今後も継続していく必要がある。</p>	

活動指標に対する評価等(7)

主要な施策	基本目標 1 地域福祉を進める担い手を育てます
-------	-------------------------

第3期地域福祉計画施策検証シート

基本目標 基本施策(4)	社会福祉法人による公益的活動を支援します
活動指標	市ホームページ等における社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの紹介
関係機関	社会福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）	
<p>(活動指標) H30年度：未掲載 → R6年度：掲載</p> <p>(R2年度の取組) 取組みができなかった。（未掲載）</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
評価(8)と併せて実施することが望ましいと考える。	

活動指標に対する評価等(8)

主要な施策	基本目標 1 基本施策(4)	地域福祉を進める担い手を育てます 社会福祉法人による公益的活動を支援します
活動指標	社会福祉法人との公益的な取り組み内容にかかる協議の実施	
関係機関	社会福祉課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
<p>(活動指標) H30年度：未実施 → R6年度：実施</p> <p>(R2年度の取組) 社会福祉法人連絡協議会（事務局：社会福祉協議会）は発足したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会議開催にまで至らなかった。</p>		
II. 課題（めざす姿と現状の差等）		
社会福祉課（地域福祉担当）の協議会への参加等を継続し、社会福祉法人の行う公益事業の把握を行う。また、その公益活動への支援の在り方などについて関係機関と協議を行う必要があると考える。		

活動指標に対する評価等(9)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(1)	みんなで支え合う仕組みをつくり 地域住民等が集う場・拠点づくりを進めます
-------	-------------------	---

第3期地域福祉計画施策検証シート

活動指標	「通いの場」登録者数
関係機関	福祉相談課
<p>I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）</p> <p>（活動指標） H30年度：1,975人 → R6年度：2,250人</p> <p>（R2年度の取組） 高齢者が身近な場所で週1回程度、気軽に集まり自主的にいきいき百歳体操をすることで介護予防に取り組んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により自粛期間が長期となった。再開時には、感染対策の周知を図った。また、フレイル対策として、自宅で安全にできる体操等についてしそチャンネルやしーたん通信、リーフレット等を活用し周知した。 令和2年度の見込み：120ヶ所、登録者数2,029名</p>	
<p>II. 課題（めざす姿と現状の差等）</p> <p>高齢者が身近な場所で週1回程度、気軽に集まり自主的にいきいき百歳体操をすることで介護予防に取り組める。再開にあたっては、体調の確認や、感染予防対策を図り実施する。地域包括支援センターとしては、立ち上げ支援や通いの場の継続支援、専門職によりミニ講座を実施する等、通いの場の充実を図る。 何らかの理由により通いの場へ参加できなくなった方、参加できない方への支援について検討が必要である。</p>	

活動指標に対する評価等(10)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(1)	みんなで支え合う仕組みをつくります 地域住民等が集う場・拠点づくりを進めます
活動指標	認知症カフェ設置数	
関係機関	福祉相談課	
<p>I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）</p> <p>（活動指標） H30年度：10か所 → R6年度：増加</p> <p>（R2年度の取組） 認知症の人とその家族、地域の人等、認知症を支えるすべての人々が集う場として、認知症カフェを設置。市内に10ヶ所の認知症カフェがあるが、新型コロナウイルス感染拡大防止により開設できていない。</p>		
<p>II. 課題（めざす姿と現状の差等）</p> <p>認知症の人とその家族、地域の人等、認知症を支えるすべての人々が集う場として、認知症カフェの設置を支援する。 再開にあたっては、安心して集えるように感染予防を図る。</p>		

活動指標に対する評価等(11)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(1)	みんなで支え合う仕組みをつくります 地域住民等が集う場・拠点づくりを進めます
活動指標	空き家バンクの登録件数	

第3期地域福祉計画施策検証シート

関係機関	ひと・はたらく課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）	
<p>（活動指標） H30年度：43件/年 → R7年度：60件/年</p> <p>（R2年度の取組） R2年度における空き家バンク物件登録件数は30件となる見込み。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>R2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、登録物件数が著しく減少した。市内には、まだ多くの空き家が存在していることから、引き続き、空き家所有者へ空き家バンクへの登録を促す取組等を強化して実施していく。</p>	

活動指標に対する評価等(12)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(2)	みんなで支え合う仕組みをつくります 地域住民主体の見守り・支え合いの関係づくりを推進します
活動指標	穴粟市高齢者地域支え合い活動事業登録企業数	
関係機関	福祉相談課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
<p>（活動指標） H30年度：32事業者 → R6年度：増加</p> <p>（R2年度の取組） 日頃、高齢者宅を訪問する機会が多い民間の事業所と市が協定を締結し、事業所は日々の活動の中で高齢者等の異変に気付いた場合には、市や警察等へ連絡し必要な支援につなげるようにしている。 R2年度は、新たに3事業所と締結した。（R3年1月末現在33事業所73店舗）</p>		
II. 課題（めざす姿と現状の差等）		
<p>今後も介護保険事業所のみでなく、日頃、高齢者宅を訪問する機会が多い民間の事業所と市が協定を締結し、事業所は日々の活動の中で高齢者等の異変に気付いた場合には、市や警察等へ連絡し必要な支援につなげることで早期対応ができるようしている。協定を締結した事業所がどの程度高齢者の異変に気づき必要な関係機関と調整したか年1回は協定締結事業所と連携を図りながら、継続支援依頼をすることが大切である。</p>		

活動指標に対する評価等(13)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(3)	みんなで支え合う仕組みをつくります 誰もが活躍できる機会を確保します
活動指標	単位老人クラブへの活動費補助件数	
関係機関	高年福祉課	

第3期地域福祉計画施策検証シート

I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）

（活動指標）
H30年度：118件 → R6年度：現状維持

（R2年度の取組）
活動費補助件数：114単位クラブ（令和2年度）

II. 課題（めざす姿と現状の差等）

高齢者の社会参加や生きがいづくりを図るため、老人クラブ連合会や単位老人クラブの活動の支援を行っておりますが、老人クラブの会員数の減少や役員のなり手不足等により、単位老人クラブ数については、年々減少傾向にある。

活動指標に対する評価等(14)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(3)	みんなで支え合う仕組みをつくり 誰もが活躍できる機会を確保します
活動指標	シルバー人材センター登録者数	
関係機関	高年福祉課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
（活動指標） H30年度：428人 → R6年度：500人		
（R2年度の取組） 登録会員数：416人（令和3年1月末） 延就業者数：23,603人（令和3年1月末）		
II. 課題（めざす姿と現状の差等）		
シルバー人材センター事業の拡大等を通じ、高齢者が地域で活躍できる取り組みを推進しておりますが、60歳から65歳への雇用延長が進み、シルバー人材センターへの入会年齢が遅くなってきたことや、会員の高齢化等により登録者数は伸び悩む現状にある。		

活動指標に対する評価等(15)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(1)	適切な支援が受けられる仕組みをつくり 相談支援体制・情報提供を充実します
活動指標	ひとり親家庭からの相談件数	
関係機関	社会福祉課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		

第3期地域福祉計画施策検証シート

<p>(活動指標) H30年度：839件 → R6年度：885件</p> <p>(R2年度の取組) R2年度(R3年1月末時点)：564件(122人) ※参考 R1年度：529件(150人)</p>
<p>II. 課題(めざす姿と現状の差等)</p> <p>件数の増加が必ずしもよい訳ではないが、相談業務にあたる母子父子自立支援員の確保や資質向上など、相談者が安心して相談できる体制を整えることが重要です。 また、ひとり親家庭の抱える課題は多岐にわたり、母子保健、経済的支援、就労支援、住居の確保、子どもの教育の支援等も必要となるため、関係機関と密接な連携を図りながら状況を踏まえて適切な助言や対応を行うことが求められています。</p>

活動指標に対する評価等(16)

<p>主要な施策</p>	<p>基本目標 3 適切な支援が受けられる仕組みをつくります 基本施策(1) 相談支援体制・情報提供を充実します</p>
<p>活動指標</p>	<p>基幹相談支援センターにおける相談件数</p>
<p>関係機関</p>	<p>福祉相談課</p>
<p>I. 具体的な取組内容、目標の達成度等(1年目見込み)</p> <p>(活動指標) H30年度：2,916件 → R6年度：3,353件</p> <p>(R2年度の取組) 福祉相談課を設置し、基幹相談支援センターとして業務を実施。保健師等の専門職員の配置により相談体制の強化を図った。 R2年度相談件数(見込み)は2,424件で指標と比較し減少しているが、昨年度までの所管である障害福祉課の相談見込み件数を合わせると3,500件以上となり、障害・福祉に関する相談対応件数としては増加している。 今後も、関係機関と連携を図りながら体制強化を図りたい。</p>	
<p>II. 課題(めざす姿と現状の差等)</p> <p>直接の相談よりも他課を介して対応することが多く、窓口の周知が不十分である。今後も周知を行うことで、市民に分かりやすく相談しやすい相談窓口にしていきたい。</p>	

活動指標に対する評価等(17)

<p>主要な施策</p>	<p>基本目標 3 適切な支援が受けられる仕組みをつくります 基本施策(1) 相談支援体制・情報提供を充実します</p>
<p>活動指標</p>	<p>生活困窮者からの自立相談件数</p>
<p>関係機関</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>I. 具体的な取組内容、目標の達成度等(1年目見込み)</p> <p>(活動指標)</p>	

第3期地域福祉計画施策検証シート

H30年度：87件 → R6年度：120件

(R2年度の取組)

社会福祉課の継続事業として、相談支援員及び就労支援員を配置し、生活困窮者自立相談支援事業を実施した。また、就労にかかる自立相談支援の一部を委託により実施した。
1月末現在の相談実績：直営89人、委託15人、計104人

II. 課題（めざす姿と現状の差等）

件数の増加が必ずしもよい訳ではないが、生活困窮者の早期発見、掘り出しにつながっているものと思われる。

活動指標に対する評価等(18)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(1)	適切な支援が受けられる枠組みをつくります 相談支援体制・情報提供を充実します
活動指標	認知症にかかる相談件数	
関係機関	福祉相談課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
(活動指標) H30年度：735件 → R6年度：1,000件		
(R2年度の取組) R2年度見込み相談件数：1,000件 市民や関係機関からの相談時やいきいき百歳体操の教室等、いろいろな機会に認知症の相談を受けた。 今年度は、市の健診と合わせ70歳～74歳の方を対象に兵庫県版認知症チェックシートを活用し認知症予防健診を1,225人に実施し認知機能の低下や社会生活に支障が出ている可能性が高い方に対し訪問により本人の心身状態を確認し、認知機能低下が考えられる方については、認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見、早期対応につなげた。		
II. 課題（めざす姿と現状の差等）		
認知症の早期発見、早期支援の為に、今後も市の健診と合わせ70歳～74歳の方を対象に兵庫県版認知症チェックシートを活用した認知症予防健診を実施し認知機能の低下や社会生活に支障が出ている可能性が高い方に対し訪問により本人の心身状態を確認し、認知機能低下が考えられる方については、認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見、早期対応につなげる。また、健診会場のみでなく、訪問や来所相談、介護予防教室等の機会を活用し兵庫県版認知症チェックシートを実施することで、健診受診者以外の方で認知機能の低下や社会生活に支障が出ている可能性が高い方を早期に把握し、必要な支援につなげていく。 若年性認知症の方への支援についての検討や介護者支援が不十分であり検討の必要がある。		

活動指標に対する評価等(19)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(1)	適切な支援が受けられる枠組みをつくります 相談支援体制・情報提供を充実します
活動指標	ふくし総合相談窓口の設置	
関係機関	健康福祉部	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
(活動指標) H30年度：未設置 → R6年度：設置		

第3期地域福祉計画施策検証シート

(R2年度の取組)
ひきこもり対策の充実と福祉の初期の相談に迅速に対応するための総合相談窓口として、令和2年4月に福祉相談課を設置した。
地域包括支援係（地域包括支援センター）と相談支援係で高齢者や障がいのある方に対し、連携しながら支援できる体制となった。

II. 課題（めざす姿と現状の差等）

—

活動指標に対する評価等(20)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(2)	適切な支援が受けられる枠組みをつくります 課題解決に向けた多様な主体のつながりを構築・強化します
活動指標	地域ケア個別会議開催数	
関係機関	福祉相談課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
(活動指標) H30年度：19回 → R6年度：30回		
(R2年度の取組) 新型コロナウイルス感染拡大防止により、集まり事例を検討する事を控えた事で開催回数が減少した。 地域ケア個別会議（処遇困難ケース等の検討）：17回開催 自立支援サポート会議（軽度者の自立に向けた支援検討）：6回開催		
II. 課題（めざす姿と現状の差等）		
多重問題世帯や処遇困難ケースが増える中、介護支援専門員や介護保険サービス事業所、地域包括支援センターのみではなく、民生委員児童委員、福祉委員、自主防災組織等、地域を巻き込むことで住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域ケア個別会議にて検討しているが、1回の会議開催のみでなく、必要な方に対しては継続的な検討が必要である。 軽度者のケースに対しては、保健師、社会福祉士、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、セラピスト、主任介護支援専門員等が集まり、それぞれ専門職としての視点より自立支援につながるよう検討しているが、その後の振り返りをする中で必要な方については自立支援の方向性を再検討する。		

活動指標に対する評価等(21)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(3)	適切な支援が受けられる枠組みをつくります 権利擁護等の取り組みを推進します
活動指標	成年後見制度に関する相談件数（延べ数）	
関係機関	福祉相談課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
(活動指標) H30年度：11件 → R6年度：22件		
(R2年度の取組)		

第3期地域福祉計画施策検証シート

民生委員児童委員の高齢者部会の方に対し、成年後見制度についてパンフレットの活用や事例を通して周知と情報共有を図った。
日々の相談の中で、成年後見制度の利用支援が必要な方には個別に訪問し制度の説明を行った。

II. 課題（めざす姿と現状の差等）

身寄りのない方で支援が必要なケースが増える中、支援が必要になってから関係者が集まり検討するのではなく、元氣な間から権利擁護等について説明し必要な方には、任意後見制度等の利用等についてすすめていくことが必要である。

活動指標に対する評価等(22)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(3)	適切な支援が受けられる枠組みをつくります 権利擁護等の取り組みを推進します
活動指標	市民後見人候補者数	
関係機関	福祉相談課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
<p>（活動指標） H30年度：4人 → R6年度：8人</p> <p>（R2年度の取組） 西播磨成年後見支援センターと協議し4市3町持ち回りで毎年開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p>		
II. 課題（めざす姿と現状の差等）		
<p>今後も西播磨成年後見センターと協議し4市3町で市民後見人候補者を養成するが、実際に活動されている方が少なく今後の課題である。</p>		

活動指標に対する評価等(23)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(4)	適切な支援が受けられる枠組みをつくります 支援を必要とする人への取り組みを推進します
活動指標	専門職及び市民向けゲートキーパー研修の開催回数（延べ数）	
関係機関	保健福祉課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
<p>（活動指標） H30年度：0回 → R6年度：5回</p> <p>（R2年度の取組） R2年度：2回 14人</p>		

第3期地域福祉計画施策検証シート

II. 課題（めざす姿と現状の差等）

新型コロナウイルス感染症の影響で、当初予定していた市職員対象の研修が中止となった。また、ゲートキーパー研修も日程の延期、縮小して実施となり、当初の人数より少ない参加となった。
市民や支援者が研修を受けることで、専門相談につなぐなど必要な支援につなぐことが期待される。

活動指標に対する評価等(24)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(4)	適切な支援が受けられる仕組みをつくり 支援を必要とする人への取り組みを推進します
活動指標	生活困窮者等への就労支援人数	
関係機関	社会福祉課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
(活動指標) H30年度：43人 → R6年度：60人		
(R2年度の取組) 日常生活習慣の改善、就労に向けた技法習得などを支援する「就労準備支援」と、求人情報の提供や個別相談、就職後の職場定着支援などを行う「就労支援」を委託により実施した。 1月末現在実績：就労準備支援7人(内就労活動につながった者3人)、就労支援18人(内就労に結びついた者12人)		
II. 課題（めざす姿と現状の差等）		
件数の多い少ないで全てを判断することは難しいが、就労支援における国が示す目標数値（就職率75%）の達成を含めて引き続き支援にあたりたい。		

活動指標に対する評価等(25)

主要な施策	基本目標 4 基本施策(1)	安全で安心な地域をつくり 地域の防災力を高める取り組みを推進します
活動指標	福祉避難所の協定数	
関係機関	消防防災課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
(活動指標) H30年度：15か所 → R6年度：増加		
(R2年度の取組) 1団体と「災害時における福祉避難所の開設等に関する協定」を締結した。		

第3期地域福祉計画施策検証シート

II. 課題（めざす姿と現状の差等）

地域でまんべんなく福祉避難所を開設できるよう協定締結に向け働きかける必要がある。

活動指標に対する評価等(26)

主要な施策	基本目標 4 基本施策(2)	安全で安心な地域をつくります すべての人にやさしい地域をつくります
活動指標	公共交通の利用者数（路線バス利用者数）	
関係機関	市民協働課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
<p>（活動指標） H30年度：276,838人 → R6年度：262,080人</p> <p>（R2年度の取組） 市民生活に必要な不可欠なバス路線を維持するため、バス運行事業者が要する運行経費の一部を市が補助する。 ・市外連絡路線（大型バス路線）4路線、市内完結路線（小型バス路線）24路線、山崎待合所周辺を循環するバス路線の運行補助、広域路線（姫路、ダイセル線等）5路線</p>		
II. 課題（めざす姿と現状の差等）		
<p>R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により再編後初めて前年度の利用者数を下回った。引き続き利便性の向上に取り組み、利用促進を図るとともに、利用が少ない路線については、路線バスではなく、別の手法により移動手段を確保していくことも検討する必要がある。</p>		

活動指標に対する評価等(27)

主要な施策	基本目標 4 基本施策(2)	安全で安心な地域をつくります すべての人にやさしい地域をつくります
活動指標	登録手話通訳者数	
関係機関	障害福祉課	
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等（1年目見込み）		
<p>（活動指標） H30年度：16人 → R6年度：20人</p> <p>（R2年度の取組） 新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度予定していた手話奉仕員養成講座は実施できなかった。</p>		

第3期地域福祉計画施策検証シート

II. 課題（めざす姿と現状の差等）

—